

令和4年度 社会福祉法人明 事業報告書

1. 活動報告

理事会及び評議員会は、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえた開催方法とした。法人に虐待防止委員会を設置し、委員会を開催した。身体拘束適正化検討委員会についても設置し、虐待防止委員会と一体的に運営を行った。

事業運営については、必要な感染対策を継続しながら出来るだけ通常の事業内容で実施し、中止していた行事を一部再開した。利用者の支援に関しては、必要な人員以上に従業員の拡充を行い、手厚い支援を確保した。

2. 役員・評議員等の構成

理事及び監事 任期：令和3年6月19日から令和4年度決算に係る定時評議員会終結の時まで

理事長	武村 學	
理事	荒川 和子	
	平野 春子	
	小川 伸	
	本田 和寛	
	若杉 昌範	
監事	黒田 秀夫	
	松本 一男	

評議員 任期：令和3年6月19日から令和6年度決算に係る定時評議員会終結の時まで

評議員	前川 芳雄	
	佐藤 高生	
	長谷川 満子	
	荒木 八ス子	
	加藤 紫	
	下里 康寿	
	安井 伸治	

3. 理事会・評議員会等の開催

理事会	第60回	令和4年6月	令和3年度事業報告 令和3年度決算 社会福祉充実計画 評議員招集事項
-----	------	--------	---

理事会	第 61 回	令和 5 年 3 月	令和 4 年度補正予算 令和 5 年度事業計画 令和 5 年度予算 評議員会招集事項
評議員会	第 51 回	令和 4 年 6 月	令和 3 年度決算 社会福祉充実計画 令和 3 年度事業報告 職務の執行状況
	第 52 回	令和 5 年 3 月	令和 4 年度補正予算 令和 5 年度事業計画 令和 5 年度予算

4. 実施事業

事業所名	事業形態	定員
港つぼみ作業所	生活介護（第二種社会福祉事業）	30 名

5. 公益的取組

（1）こども 110 番の家

施設の学区内や通学路において、子どもたちが身の危険を感じた時など緊急時に助けを求め駆け込める場所として、「こども 110 番の家」への協力を継続。プレート設置、子どもの駆け込み避難が発生した際のマニュアル整備、学区内小学校 P T A と定期的な申し合わせ事項確認などを実施している。

（2）生活困窮者就労訓練事業

就労訓練事業「生活困窮者就労訓練事業」の短期実習就労体験及び中期実習就労体験（中間的就労パイロット事業）、就労準備事業「就労体験協力事業」を受け入れる名古屋市の「生活困窮者就労訓練事業」の認定を継続。今年度は見学の受け入れ実績のみ。

令和4年度 港つぼみ作業所 事業報告書

1. 運営実績

個別支援計画を策定し、生活の支援や相談、排せつ及び食事の等の日常生活介護、創作的活動及び生産活動の機会の提供を行った。基幹相談センター、相談支援事業所、他の事業所と連携し、利用者の必要な情報共有を図るとともに、個々の状況に合わせた適切な支援に努めた。

日課の内職作業については、前年度から大きく変動があったものは無く、一定の作業量を確保することができた。休止しているボール遊具洗浄作業は再開の見通しが立っていない。行事や課外活動は自粛を継続したが、感染防止対策を講じながら一部実施や再開をすることができた。

2. 事業所概要

事業所名	事業形態	定員／利用契約者
港つぼみ作業所	生活介護（平成30年4月1日指定）	30名／20名

3. 事業内容

(1) 就労支援事業

- ア. 受託作業：ダイレクトメール封入、割り箸封入、紙箱組立、ゴム部品バリ取り
- イ. 製造販売：ふきん、縫製品、洗濯バサミ
- ウ. 資源販売：アルミ缶等、廃電線等、古紙ダンボール等

(2) 行事・課外活動・その他の活動

- ア. 地域生活推進：地域清掃、地域行事参加
- イ. 課外活動：給料取り組み、社会科見学、風俗習慣

4. 利用状況

5月に新規利用者が1名、退所者はなかった。利用契約者数は20名となり、平均実利用者数は前々年度15.7、前年度16.1、今年度は16.9と毎年度上昇しているが、依然として定員を大きく割っている状況が課題となっている。また、体調不良や入院により長期の静養を行った利用者が3名おり、それぞれ1～2ヶ月程度利用を中断した。

5. 利用者の給料

日給制で、工賃規程に沿って毎月支給するとともに、9月と3月の半年ごとに賞与も支給し、平均工賃月額が5,439円となり前年度の4千円台から回復した。

6. 営業日

月の歴日数－8日を原則として年間計画のとおり営業した。

7. 職員体制

4月に非常勤職員1名が退職、6月と8月に非常勤職員を1名ずつ採用。

施設長（管理者）	常勤	兼務	1名
サービス管理責任者	常勤	兼務	1名
生活支援員	常勤	専従	3名
	非常勤	専従	4名
看護職員	非常勤	専従	1名
医師	嘱託医	専従	1名

8. 資質向上

常勤職員の外部研修への参加については、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染防止の観点からリモート形式のものが多かったが、全員が年度内に1回以上参加する目標を達成した。

内部研修は、新規採用者を対象に公益通報者保護、虐待防止、身体拘束適正化、個人情報保護について実施した。全職員に対しては公益通報者保護、事故防止、虐待防止について3月に実施した。虐待防止については、虐待防止委員会での審議を踏まえた内容で行った。

9. 防災対策

㈱日立ビルシステムによる消防設備点検を年2回5月と11月に実施。防火設備、防災設備及び備蓄飲食料の自主点検を9月に実施。消防計画に基づく避難・消火・通報の訓練を年2回5月と2月に、新規採用者向けの訓練を8月に実施。消防署員立ち合いの訓練を7月に実施。南海トラフ地震防災対策計画及び避難確保計画に基づき避難場所や避難経路確認等の防災教育を9月に実施。

10. 苦情受付・解決状況

苦情受付件数0件

受付年月日	申出人	内容	経過及び結果
なし	なし	なし	なし

11. 事故報告

事故報告件数5件

報告年月日	内容	名古屋市への報告
令和4年4月1日	打撲	無
令和4年4月12日	転倒	無
令和4年4月22日	他の利用者への他害行為	無

令和4年7月22日	誤薬（飲み逃し）	無
令和4年8月18日	他の利用者への他害行為	無

保護者や関係機関へ速やかに報告し、必要な対応を実施した。

12. 虐待事案報告

虐待事案 0 件

13. 身体拘束報告

身体拘束実施報告 2 件

実施年月日	理由
令和4年5月9日	職員への他害行為
令和4年8月16日	他の利用者への他害行為

身体拘束適正化に向けて直ちに拘束を解除、記録を作成。保護者及び関係者に報告と状況説明を行った。

14. その他の報告

- (1) 新型コロナウイルス蔓延防止のため、利用者の毎朝の検温、マスク着用、昼食時の部屋分散、来所時や外出から戻った際の手指の消毒、職員の毎日の検温及び健康申告、施設内の換気などの対策を継続して実施した。
- (2) 新型コロナウイルスワクチンについて、希望者に対して予約や医療機関への送迎などの接種支援を行った。